

令和7年度 経済委員会 県外視察の概要

1 参加委員

沢本 勝彦（委員長）、重清 佳之（副委員長）、岡田 理絵、
井村 保裕、北島 一人、仁木 啓人、岸本 淳志、古川 広志、
岡田 晋

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
7月30日(水)	シンバホールディングス株式会社（沖縄県浦添市）
7月31日(木)	沖縄サントリーアリーナ（沖縄県沖縄市）
	うるま市農水産業振興戦略拠点施設 （うるマルシェ）（沖縄県うるま市）
	北谷フィッシャリーナ（沖縄県中頭郡）
8月1日(金)	沖縄県庁（沖縄県那覇市）

3 調査目的及び視察概要

（1）シンバホールディングス株式会社（沖縄県浦添市）

（調査目的）

沖縄エンタテインメント振興協会は、地域課題の解決や地域活性化など、エンターテインメントと社会をリンクさせるイベントとして、「沖縄国際映画祭」を前身とする「沖縄国際文化祭2025」を令和7年4月に主催し、2日間の総来場者数が4万人を超えるなど、沖縄県の文化振興やにぎわいの創出に大きく寄与している。

そこで、沖縄国際文化祭によるにぎわい創出や地域活性化の取組について調査する。

（視察概要）

沖縄国際文化祭によるにぎわいづくりについて説明を受けた後、意見交換を行いました。



（２）沖縄サントリーアリーナ（沖縄県沖縄市）

（調査目的）

沖縄市では、プロスポーツなど全国的なイベントを誘致するため、海外先進アリーナ水準の多目的アリーナを整備し、指定管理者制度を活用して管理・運営を行っており、質の高いエンターテインメント体験の提供や、最先端のＩＴ技術の導入・データの活用など、顧客満足度向上のための取組を多数実施している。

そこで、スポーツ振興による地域活性化の取組について調査する。

（視察概要）

スポーツ振興による地域活性化について説明を受けた後、沖縄サントリーアリーナを見学しました。



（３）うるま市農水産業振興戦略拠点施設（うるマルシェ）（沖縄県うるま市）

（調査目的）

うるま市は、うるま市の生産品のブランド化による販路拡大、地産地消、地産外商、６次産業化を推進し、経営耕作地及び生産量の拡大、担い手の確保・育成など、第一次産業の持続・振興的な発展に寄与する施設として、うるま市農水産業振興戦略拠点施設（うるマルシェ）を設置し、指定管理者制度により運営を行っている。

そこで、うるま市農水産業振興戦略拠点施設（うるマルシェ）の取組について調査する。

（視察概要）

うるマルシェの取組について説明を受けた後、うるマルシェを見学しました。



(4) 北谷フィッシャリーナ (沖縄県中頭郡)

(調査目的)

北谷町は、北谷町フィッシャリーナ整備事業により、水産業と観光・レクリエーション等のマリン産業が融合した交流拠点である北谷フィッシャリーナを整備している。

同施設は、リゾートホテルを含む多様な宿泊施設や商業施設の誘致・集積、公園や遊歩道等の一体的な観光インフラ整備など、公・民の連携した取組により国内外から多くの観光客が訪れる都市型オーシャンフロントリゾート地として発展している。

そこで、北谷町フィッシャリーナ整備事業について調査する。

(視察概要)

北谷町フィッシャリーナ整備事業について説明を受けた後、北谷フィッシャリーナを見学しました。



（５）沖縄県議会（沖縄県那覇市）

（調査目的）

沖縄県では、新たなリーディング産業として、観光産業、情報通信関連産業に次ぐ第三の柱を「国際物流拠点の形成」とする目標を掲げ、那覇空港を沖縄国際ハブとする県内事業者の海外販路拡大支援等のみにとどまらず、全国特産品の流通拠点化の推進や、全国の企業、自治体が沖縄を経由した海外販路の開拓が可能となる国内・国際航空ネットワークの構築などに官民一体となって取り組んでいる。

そこで、沖縄国際物流ハブ活用推進事業について調査する。

（視察概要）

沖縄国際物流ハブ活用推進事業について説明を受けました。

